

資源循環いばらき

一般社団法人茨城県産業資源循環協会
〒310-0852 水戸市笠原町 978 番 25
茨城県開発公社ビル 4 階
TEL/029-301-7100 FAX/029-301-7103
<https://www.ibaraki-sanpaikyo.or.jp>

第13回定時総会開催

令和7年5月27日(火)、ホテルレイクビュー水戸において盛大に開催されました。



上甲副会長の司会進行により、大木副会長が開会を宣言し、古矢会長から挨拶がありました。続いて令和7年度表彰式が行われ、功労者4名、優良事業所5社、優良従事者11名が表彰され、古矢会長からひとりひとりに賞状が贈られました。

引き続き、茨城県県民生活環境部石川部長、茨城県警察本部生活安全部生活環境課藤川課長からご挨拶を頂いた後役員の変更などの議案審議が行われ、異議なく原案どおり承認されました。新役員による理事会が休会中に開催され、再開後、沼田新会長が選任されたことが報告されました。

総会終了後に開催した「資源循環と環境を考える懇談会」では来賓を含む210名が集まり、終始和やかに懇談が交わされ、盛会のうちに閉会をしました。

一般社団法人茨城県産業資源循環協会
会長 古矢 満 あいさつ



ただいまご紹介いただきました会長の古矢でございます。

第13回定時総会の開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、公務ご多忙にもかかわらず、茨城県民生活環境部長 石川 仁 様、茨城県警察本部生活安全部生活環境課長 藤川 忠興 様、資源循環推進課長 廣瀬 史明 様、をご来賓としてお迎えし、また、このように多くの会員の皆様方のご出席を賜り、ここに第13回定時総会を開催できますことは誠に喜ばしく、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨今の社会情勢を見渡しますと、世界各地の戦火の拡大はやまず、米国の関税政策もあって、世界経済の行方はますます混とんとしております。

あわせて、石油やガスなどエネルギー価格をはじめとする諸物価の高騰は収まる気配がありません。

このため、多くのエネルギーを使う当業界においても大きな影響を受けているところであり、会員企業の皆様も、たいへんなご苦勞をされていると拝察いたします。

また、我が国の産業界全般に共通した課題ではありますが、当業界においても、人手不足がますます深刻化しております。

必要な技能や技術を持った人材を確保することが喫緊の課題となっており、中核となる職員はもとより、若手職員や女性職員、さらに中高年齢の職員の方々に活躍していただかなければなりません。

また、全国産業資源循環連合会では、私どもの業界が「外国人育成就労・特定技能制度」へ参入できるよう、鋭意検討を進めているところでもあります。

多様な働き手にとって魅力的な職場としていくためには、まず、適正な賃上げや十分な休暇な

ど雇用条件を見直し、安心して業務に取り組むことができる環境を整え、また、女性が働きやすい職場へと改善していくことが大切です。

さらに、安全な労働環境の実現に向けて、労働災害を防止し、労働安全をしっかりと確保することが重要でございます。

会員各位におかれましては、関係する法制度にも配意され、職場環境の向上に、さらに取り組まれるよう、切にお願いを申し上げます。

このように様々な課題が山積する中ではありますが、一方では、サーキュラーエコノミーとも称される資源循環経済の構築を求める声はこれまで以上に高まっております。

国においては、循環経済への移行を国家戦略として位置付け、また、全産連では、標準産業分類の中に、資源循環・廃棄物処理業を新設しようと取り組んでいるところです。

こうしたことから、資源循環の一端を担う私どもの業界への期待と責任もますます強まっております。

国においては、昨年、いわゆる「再資源化事業等高度化法」が制定されたところであり、年内に施行されることとなっております。

この法律によって、廃棄物の再資源化に向けた技術開発が進展し、広域化や協働化など、事業の高度化が図られ、資源循環の流れがさらに拡大することが期待されております。

一方で、廃棄物処理法の特例が認められることから、これまでの廃棄物処理の流れが大きく変革することも予想されるところです。

当協会としても、法制度の内容やその運用を十分に注視し、適切に対応することにより、資源循環経済の発展に寄与してまいりたいと考えております。

会員企業の皆様におかれましては、こうした法制度をご活用いただき、循環型社会の形成に向けて一層の寄与をされますよう、ご期待を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、本県に限れば、比較的災害が少ない一年ではございました。

しかしながら、昨年末に、県内の養鶏場において高病原性鳥インフルエンザが発生し、当協会におきましては、県の委託を受け、年明け早々から、養鶏場の防疫作業や焼却処理にお力添えをさせていただきました。ご協力いただいた会員企業の皆様には、この場をお借りし、厚く御礼を申し上げます。

また、全国的に見ますと、能登半島で大地震に続いて豪雨災害にも見舞われるなど、自然災害はますます激甚化しておりますので、決して油断することなく、備えを欠かすことはできません。

当協会では、一昨年、関東地域協議会の各都県との間で相互応援協定を取り交わしたところであり、現在その具体化に向けて、環境省を交え、意見交換を行っているところであります。

こうした連携をさらに深め、様々な災害状況に迅速、的確に対応できる態勢を整えてまいりたいと考えております。

また、日立市内の新産業廃棄物最終処分場は、再来年春の開業に向け順調に進んでいるものと伺っております。

事業に携わる関係各位のたいへんなご苦労は拝察するばかりですが、災害廃棄物の迅速な処理のためにも、県内の最終処分場は、なくてはならないものであります。

引き続き整備が円滑に進みますよう、協会としてもできる限りお力添えをしておりますので、会員の皆様におかれましても、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、本日の定時総会では、令和6年度の事業報告及び収支決算の承認、また、役員の変更を上程させていただくこととしております。

当協会の事業について、会員の皆様にご説明できる、たいへん重要、かつ貴重な機会でございます。

いますので、ご審議のほど、よろしくお願いを申し上げます。

また、議案審議に先立ちまして、産業廃棄物処理にご功労のあった方々、並びに事業所、そして、優良従事者の皆様への表彰をとり行わせていただきます。

受賞されます皆様方、まことにおめでとうございます。皆様方の永年のご功績に、心より敬意と感謝を申し上げます、また、本日ご参会の皆様からも、心からのご祝意をお届けいただければ誠に幸いです。

定時総会終了後には、会員各位のご親交を深めていただく懇談の場を用意しております。

懇談会の名称は、先ほど申し上げました、資源循環社会の動きに足並みをそろえて、今回から「資源循環と環境を考える懇談会」と変更させていただきました。

会員の皆様には、あわせて、ご参加いただき、懇親を深めていただきますよう、よろしくお願いを申し上げます。

結びになりますが、本日の定時総会を契機として、当協会のますますの発展と、本日お集りいただきました会員各位のご健勝、ご活躍をこころよりご祈念申し上げます、挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

茨城県県民生活環境部

石川 仁 部長 あいさつ



ただ今御紹介をいただきました茨城県県民生活環境部長の石川でございます。

本日ここに、「一般社団法人茨城県産業資源循環協会」の定時総会がこのように盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

ただいま表彰を受けられました皆様、誠にありがとうございます。皆様方の日頃の御努力の成果が認められたものと、心からお祝い申し上げます。

また、古矢会長を筆頭に、会員の皆様におかれましては、日頃から産業廃棄物の適正処理や資源の循環利用などの取組を通じ、県民の快適で豊かな生活環境の創出に多大なご尽力を賜っております。

さらに、ボランティアU. D. 監視員として不法投棄の監視や、ボランティアでの不法投棄物の撤去、加えて、昨年末に発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫作業においては、年末年始の時期にも関わらず、多くの会員の皆様にご協力いただきました。

日頃なかなか感謝をお伝えする機会が少なく、誠に恐縮ではございますが、この場をお借りして心から感謝申し上げます。

さて、豊かな自然を守り、県民が環境と調和した生活を送るうえで、資源循環の取り組みや不法投棄・廃棄物対策は極めて大きな課題であります。

本県では、循環型社会の形成に向けて、国や市町村と連携し、食品ロス削減やペットボトルの水平リサイクルなど、廃棄物の発生抑制や再資源化の取り組みを推進するとともに、2026年度末の供用開始を目指し、新たな産業廃棄物最終処分場の整備を進めているところです。

また、警察OBなどからなる専門チームを設置し、産業廃棄物の不法投棄などの監視・指導体制を強化するとともに、昨年四月に全国に先駆け施行された「茨城県再生資源物の屋外保管の適正化に関する条例」に基づき、金属スクラップなどの再生資源物の適正保管に取り組んでおります。

県といたしましては、引き続き、関係団体をはじめ様々な主体と連携を図りながら、資源循環

の促進や不法投棄などの撲滅、再生資源物の適正な保管に向けて、積極的に取り組んでまいります。

皆様方におかれましては、時代の要請である、資源循環やカーボンニュートラルの推進に向け、技術力の向上や専門的な人材の育成などに積極的に取り組んでいただきますとともに、不法投棄の監視強化などに、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人茨城県産業資源循環協会の益々の御発展と、御参会の皆様方の御健勝、御活躍を祈念いたしまして挨拶させていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

茨城県警察本部生活環境課 藤川 忠興 課長 あいさつ



ただ今、ご紹介頂きました茨城県警察本部生活安全部生活環境課長の藤川と申します。

どうぞよろしくお願い致します。

本日、一般社団法人茨城県産業資源循環協会の定時総会がこのように盛大に開催されたことを、心からお慶び申し上げます。

また、ただ今表彰を受賞された皆様にも心からお祝いを申し上げます。

古矢会長をはじめ協会の皆様におかれましては、平素から警察行政各般にわたり、深いご理解とご協力をいただいておりますこと、また、令和3、4年度に県の廃棄物規制課不法投棄対策室長として派遣されておりました時にも、協会と皆様方には多大なるご理解とご協力をいただきましたこと、この場をお借りしてここに厚く御礼申し上げます。

さて、茨城県内におきましては、以前よりは減少してるとはいえ、未だ産業廃棄物の不法投棄、不法焼却が発生しております。

また保管関係、受託関係の違反が見られるほか、過積載の問題や、マニフェストの虚偽記載・

不交付といった問題なども未だに散見されます。

ご存知の通り、産業廃棄物については、廃棄物処理法において排出事業者責任が定められており、事業者は最終処分が終了するまでの間、一連の処理が適正に行われるために必要な措置を講じなければなりません。

それにも関わらず、不適正な処理が問題になることがあります。

警察が事業者に話を聞くと、処理業者に委託したからその後のことは分からないとか、適正に処理するように指示してあるから、その通りやっているはずだなどと言う者がいます。これでは処理業者に丸投げ状態、責任を果たしているとは言えません。しかしながら、そういった事業者が少なからずいるのは事実です。

また処理を請け負う側も、発注元の手続きの不備があってもなかなか言うことができず、例えばマニフェストの不備を自分たちで虚偽記載してしまったり、金銭的な損失を避けるために、違法と知りつつより安価で処理を請け負ってくれる違法業者に再委託し、その廃棄物が最終的には不法投棄されたというケースも見られるところでございます。

皆様におかれましては、業界の模範的リーダーとして、不正はしない、あるいは不適正な要求は毅然としてはねつけるとともに、協会として進めていただいておりますマニフェスト制度のさらなる普及促進、あるいは協力研修、情報提供などを通じた産業廃棄物の適正処理の推進を図っていただけたらと期待しております。

また不法投棄につきましては、一旦捨てられたものを撤去させる、あるいは撤去する、そのためには大変な労力と費用がかかります。最初の少量のうちから早期に発見して早期に対応することが非常に重要になっております。

警察といたしましてもパトロールを強化しておりますが、皆様ご参加いただいているボランティアU. D. 監視員活動を通して、あるいは事業者の皆様からの情報提供に対しても、我々警察としても非常に期待しているところでございます。

今後も県をはじめ、市町村や協会の皆様、関係団体機関とも連携しまして、廃棄物の不適正処理の防止に努めますとともに、悪質違法な行為者に対しましては、警察としてあらゆる法令を駆使して厳正に対処していく方針でございますので、さらなるご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

また県警ではその他にも、住宅侵入窃盗や投資・ロマンス詐欺、金属窃盗とかオンラインカジノといったものの検挙や抑止、あるいは匿名・流動型犯罪グループと呼ばれるものや不法滞在外国人に対する諸対策、交通安全対策としても、早めのライト点灯や、ハンドサイン運動、横断歩行者妨害の取締りにも取り組んでおります。

ちなみに、ハンドサイン運動について少し紹介させていただきますと、小さい頃は、横断歩道は手を挙げて渡っていても、大人になると手を挙げるのが恥ずかしい。一方ドライバーからすると、その人が渡ろうとしているのか意思表示がないと分かりづらい。そのため、ハンドサインをして運転手に目線を合わせ、今から渡るんですという意思表示を運転手側へする。歩行者優先ではありますが、意思表示をしている人がいれば運転手側も止まっていたらと、茨城独自の運動を昨年からはじめております。

皆様の事業所でも車両を多く使っていると思います。ぜひ従業員の方に対し、このハンドサイン運動を茨城県はやっているよということを広く周知していただけたらと思います。

ちなみに県警で去年ハンドサインのテストをやったところ、手を上げないより手を上げた方が、2倍車が止まったという結果もありましたので、ご理解とご協力の方をよろしくお願い致します。

結びに、茨城県産業資源循環協会の益々のご発展と、お集まりの皆様方のご健勝とご活躍を祈念申し上げまして、挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



日本工業経済新聞掲載
2025年(令和7年)6月3日

令和7年度茨城県産業資源循環協会表彰受賞者

順不同



功労者

- ・大高 勝利 (株)茨城県クリニック・クリーン協会
- ・川松 幸司 (株)筑波学園環境整備
- ・並木 均 (有)茨商
- ・西谷 年弘 (株)潮来工機



優良事業所

- ・ユタカ建設工業(株)
- ・(株)水越
- ・(株)高橋組 鹿島支店
- ・(株)クリーン・エステート
- ・(株)アロウズ



優良従事者

- ・館山 義治 (有)地域整備開発研究所
- ・平岡 武史 (株)リサイクルパーク
- ・畑 浩三 沼田クリーン(株)
- ・秋山 清徳 勝田環境(株)
- ・藤枝 智治 (株)カツタ
- ・石田 哲哉 鹿島北共同発電(株)
- ・山野 勉 日東エンジニアリング(株)
- ・亀田 保夫 (株)フロムダブリュー
- ・加納 嘉子 (株)ヤマゲン つくば工場
- ・大野 拓郎 (株)茨大
- ・管野 茂 東武商事(株)

受賞者の皆様おめでとうございます。



令和7年度資源循環と環境を考える懇談会

《沼田元良新会長挨拶》

このたびの役員改選により、会長を仰せつかりました沼田クリーン株式会社の沼田元良でございます。懇談会の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

先ほどの第13回定時総会におきまして、会員の皆様のご理解、ご協力を賜りまして、令和6年度の事業報告及び決算報告、そして、役員改選についてご承認をいただき、とどこおりなく終了することができました。心より感謝申し上げます。

また、本日はご多用の中、石川県民生活環境部長 様をはじめ、県関係各課、各県民センターの皆様方、関係団体の皆様に、ご臨席を賜り、厚く御礼を申し上げます。

加えて、このように多くの会員の皆様にご出席をいただき、心より感謝を申し上げます。

本日の定時総会におきましては、副会長1名、理事6名が新たに選任されたところでございます。

そして、私自身、協会の新たな会長に選出いただきました。ご信任をいただきました会員及び理事各位に感謝を申し上げます。この重責に身の引き締まる思いであります。

古矢前会長におかれましては、副会長として10年、会長として6年間をお務めいただきました。

永きにわたる当協会への多大なご功績に、あらためて敬意と感謝を表したいと思っております。引き続き私どもへのご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、さきほど定時総会での、古矢様のご挨拶の中で、資源価格の高騰や人手不足、資源循環社会の構築と新法への対応、そして災害への備えなど、私どもの業界が様々な課題に直面しているとのお話がありました。

いずれも極めて重要な課題であり、同じ事業を行う者が協力し合うことで、より大きな力を発揮できる場面もあるものと存じます。

当協会の組織や活動を一層充実させ、役員一同、力を合わせて、こうした様々な課題にしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

会員の皆様におかれても、協会事業にご理解、そしてお力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

本日は、定時総会にご出席いただいた、せっかくの機会ですので、あわせて懇談の場を用意させていただきました。お時間の許す限りご親交を深めていただき、会員各位の連携、協力の一助としていただければ、と存じます。

結びになりますが、本日ご参会の皆様の益々のご健勝とご活躍、そして当協会の一層の発展をお祈り申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。

役員体制

会 長	沼田クリーン(株)	沼田 元良		
副会長	(株)フロムダブリュー	上甲 龍也	(有)プライムクリエイト	大木 清実
	(株)昭栄	石本 雄治	黒沢産業(株)	黒沢 善弘
理 事	(株)茨城県クリニック・クリーン協会	大高 勝利	大蔵生コンクリート(株)	鄭 豊之
	(有)磯屋企業運輸	川崎 浩伸	(株)国昌リサイクルセンター	黒澤 義昌
	(有)大進エンジニアリング	大越 成巳	勝田環境(株)	七井 雄司
	(有)榊原商店	榊原 広	(有)大陽環境センター	雲谷 芸里
	(株)つくばエンバイロメントソリューションズ	岡野 敏典	高野工業(株)	高野 竜也
	(株)筑波学園環境整備	川松 幸司	高橋商事(株)	藤枝 祥一
	(株)カノヤ	鹿野谷雅人	(株)ダイゼン	前島 聡
常務理事兼事務局長	(一社)茨城県産業資源循環協会	河原井 淳		
監 事	鈴木正平税理士事務所	鈴木 正平	(株)伊東商事	伊東 博幸
顧 問	(株)フルヤ建商	古矢 満	佐藤泉弁護士事務所	佐藤 泉

協会ニュース

(公社)全国産業資源循環連合会第15回定時総会及び法人化40周年記念式典を開催

令和7年6月20日(金)、東京都の明治記念館で、公益社団法人全国産業資源循環連合会第15回定時総会および法人化40周年記念式典が開催され、当協会からは表彰受賞者を含め25名が参加しました。

定時総会は、永井会長の挨拶のあと総会次第に従い議事が進行し、2024年度事業報告並びに2024年度決算案承認、2025年度事業計画が報告されました。



挨拶をする永井会長

定時総会終了後、法人化40周年記念式典及び表彰式が行われ、当協会から13名の方々が受賞されました。

講演会では、アテネオリンピックサッカー日本代表監督、NHKサッカー解説者の山本昌邦氏に「心をつかむ人材育成術」という演題で講演があり、終了後は別会場で懇親会が盛大に開催されました。



(公社)全国産業資源循環連合会表彰受賞者

順不同

功労者	優良事業所	優良従事者
・沼田元良 沼田クリーン(株)	・高橋商事(株)	・砂押 誠 勝田環境(株)
地方功労者	地方優良事業所	・関口和克 (株)ケイ・エム環境
・古澤真一 (株)エコイノベーション	・(有)磯屋企業運輸	・深谷祐美子 高橋商事(株)
・西野功一 (株)白土商事	・日立アスコン(株)	・住谷勝司 (株)リーテム
・東原明寿 (株)東栄商事	・(株)クレハ環境 茨城営業所	
	・環境通信輸送(株)牛久りサイクルセンター	

受賞者の皆様、誠におめでとうございます

知事に表敬訪問を行いました

令和7年7月2日（水）、沼田新会長と古矢前会長（現顧問）が知事に表敬訪問を行いました。

知事からは、鳥インフルエンザや災害廃棄物の処理に対する会員企業の貢献に感謝の言葉を頂きました。



職場における熱中症対策セミナーを開催

令和7年7月9日（水）に開発公社ビル大会議室において、茨城労働局労働基準部健康安全課地方労働衛生専門官 飯塚 則裕 氏、茨城産業保健総合支援センター 産業保健相談員（常磐大学看護学部看護学科助教）井坂 恵 氏を講師に迎え、『職場における熱中症防止対策セミナー』を実施しました。



6月1日から施行された改正労働安全衛生規則により、職場における熱中症対策が義務化されました。これに伴い事業者の関心も高まり、セミナーには予想を上回るお申し込みをいただきました。

そのため、会場は当初予定していた中会議室から大会議室へ変更となり、102名の方にご参加いただきました。

セミナーでは、茨城労働局 飯塚講師より、年々増加傾向にある熱中症による労働災害の発生状況や現状の課題について、具体的なデータを交えてご説明いただきました。

また、改正労働安全衛生規則に

基づき、事業者に求められる連絡体制の整備や、重症化を防ぐための対応手順の策定など、新たに求められる責務についても詳しく解説いただきました。

続いて、茨城産業保健総合支援センター 井坂講師からは、熱中症の予防対策として、早期発見のための体制整備や重症化を防ぐ初期対応のポイントについてご説明いただきました。



挨拶をする雲谷安全衛生委員長



飯塚講師



井坂講師

その中で、従業員一人ひとりの体調変化に気づくための観察や声かけの重要性、日常的な健康管理の方法など、現場で実践可能な対策についても具体的にお話しいただきました。

本セミナーを通じて、参加者の皆様には法改正の趣旨を正しくご理解いただき、職場での具体的な熱中症対策の実施に向けた有意義な機会となりました。

セミナーの様子が厚生労働省茨城労働局ホームページ（フォトレポート）に掲載されました
<https://jsite.mhlw.go.jp/ibaraki-roudoukyoku/home.html>

安全衛生委員会よりお知らせ

令和7年6月1日に
改正労働安全衛生規則が
施行されます

職場における 熱中症対策の強化について



熱中症による死亡災害の多発を踏まえた対策の強化について

職場における 熱中症による死亡災害の傾向

- ・死亡災害が2年連続で30人レベル。
- ・熱中症は死亡災害に至る割合が、他の災害の約5～6倍。
- ・死亡者の約7割は屋外作業であるため、気候変動の影響により更なる増加の懸念。

ほとんどが
「初期症状の放置・対応の遅れ」

早急に求められる対策

「職場における熱中症予防基本対策要綱」や「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン実施要綱」で実施を求めている事項、現場で効果を上げている対策を参考に、

現場において

**死亡に至させない
(重篤化させない)ための
適切な対策の実施が必要。**

基本的な考え方



現場における対応

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、以下の「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が事業者には義務付けられます。

1 「熱中症の自覚症状がある作業員」や「熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」がその旨を報告するための体制整備及び関係作業員への周知。

※報告を受けるだけでなく、職場巡視やパディ制の採用、ウェアラブルデバイス等の活用や双方向での定期連絡などにより、熱中症の症状がある作業員を積極的に把握するように努めましょう。

2 熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に迅速かつ的確な判断が可能となるよう、
① 事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先及び所在地等
② 作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順(フロー図①②を参考例として)の作成及び関係作業員への周知

対象となるのは

**「WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で
連続1時間以上又は1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業**

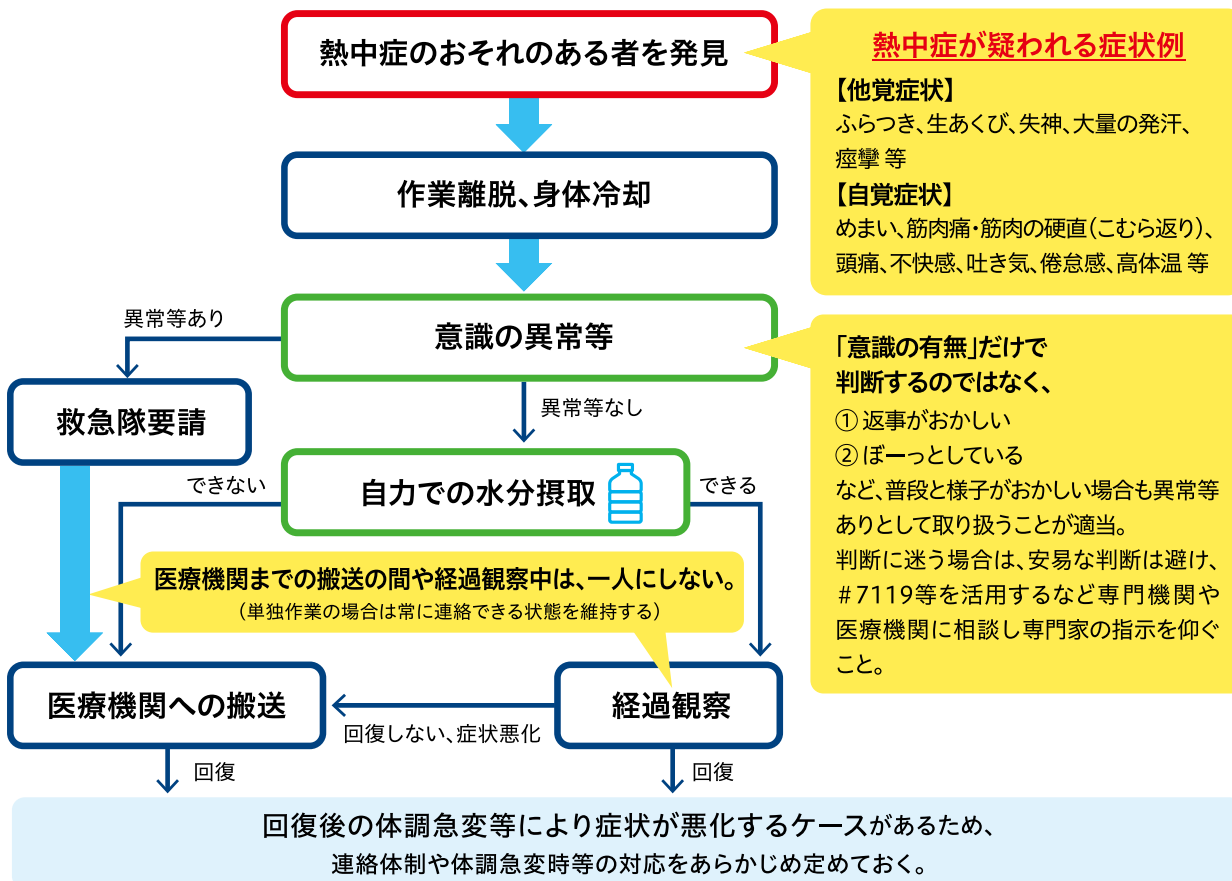
※作業強度や着衣の状況等によっては、上記の作業に該当しない場合であっても熱中症のリスクが高まるため、上記に準じた対応を推奨する。
※なお、同一の作業場において、労働者以外の熱中症のおそれのある作業に従事する者についても、上記対応を講ずることとする。

職場における熱中症対策の強化について



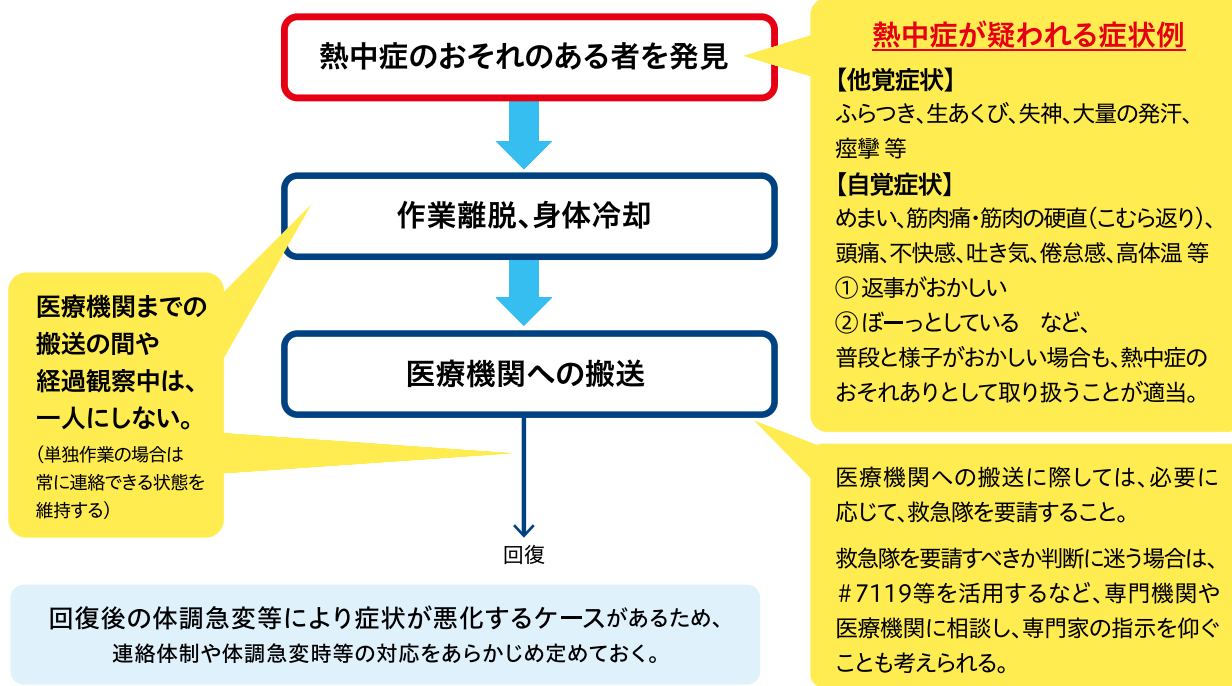
熱中症のおそれのある者に対する処置の例 フロー図 ①

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。



熱中症のおそれのある者に対する処置の例 フロー図 ②

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。



茨城県産業資源循環協会支部活動報告書 《県南支部》



支部だより

県南支部長 (株) つくばエンバイロメントソリューションズ

岡野 敏典



日頃より協会支部運営におきまして、会員の皆様にはご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。また、昨年末に八千代町内で発生しました鳥インフルエンザに伴う防疫業務におきましても、お正月も重なる時期であったため全ての会員へ速やかなご案内が行き届かなかった事と思いますが、そのような中でもご協力をいただきました支部会員の皆様には大変感謝申し上げます。連絡体制に関しては事務局側の今後の課題とさせていただきますので、皆様には更なるご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

今年度予定しておりました支部事業につきましてはおかげ様で全て終了することが出来ました。12月の筑波山クリーンアップ大作戦、1月のボウリング大会、3月の霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦とも大変多くのご参加をいただきました。特に霞ヶ浦清掃では今回初の試みで全支部参加型としましたので、他支部の方々とも交流出来ましたね。本当にご協力ありがとうございました。

さて、4月24日は支部総会です。私も支部会員の皆様とまたお会いし、お話出来ることを大変心待ちにしております。近年情報は目まぐるしく更新されていますので、様々な方がタイムリーに情報交換していただける絶好の場になると思います。業務優先とは存じますが、まだご参加の経験がない会員の方も大歓迎です！行政機関の方々もお越しいただく予定ですので、この貴重な機会にたくさんのご参加を是非お待ちしております。

県南支部会員入会のお知らせ

〇令和6年8月1日付け

事業所・代表者名 許可番号(下6桁)	所在地及び連絡先	業種区分	取扱い品目
(株) サンセイ 代表取締役 木村 心吉 *連絡責任者 専務取締役 遠藤 崇司 233678	〒305-0023 つくば市上ノ室381-1 TEL 029-875-5881 FAX 029-875-5882 <ホームページ> http://www.t-sanseico.jp/	収集運搬業	汚泥・がれき類

筑波山クリーンアップ大作戦 2024 事業報告



令和6年12月14日(土)午前9:00より、「筑波山クリーンアップ大作戦2024」が行なわれました。当日は天候にも恵まれ茨城県、石岡市、市議会議員、茨城新聞社、県南支部会員の皆様のご参加を頂きまして石岡市にあります旧国民宿舎つくばね第2駐車場に集合しまして古矢協会長、岡野支部長、菱沼石岡市議のご挨拶・川松副支部長のご説明の後、石岡と筑西を結ぶ県道150号線(真壁月岡線)道路沿いのゴミ拾い活動を行いました。今回も、峠道という事もあり自分たちで声を掛け合いながらの作業となりましたが参加者総勢95名と大人数でのゴミ拾いとなり大量のごみを回収することができ、無事にケガ・事故もなく活動を終了することができました。ご参加頂きました皆様、誠にありがとうございました。今後も地元の自然保護と各々の体力維持のため、次年度もまたご参加の程宜しくお祈りいたします。

筑波山クリーンアップ大作戦2024の活動詳細は以下のとおりです。

行政参加者	茨城県県民生活環境部	廃棄物規制課不法投棄対策室	室長 高島 茂之 様 主任 根岸 慶輔 様
	茨城県県南県民センター	環境・保安課	課長 仲田 弘美 様 課長補佐 広瀬 憲一 様 主査 木村 豊 様
	石岡市	市議会議員	監査委員 菱沼 和幸 様
		生活環境部	次長 田辺 武弘 様 参事 鈴木 正人 様
		生活環境課	課長 原田 和宣 様 課長補佐 鈴木 信之 様 課長補佐 酒井 敦史 様 係長 稲田 拓巳 様 郡司 理 様 主任 茂木 祐希 様 酒井 可奈 様 主幹 大和田 拓弥 様 主事 高野 勇樹 様 小沼 大地 様
		コミュニティ推進課	主事 小松崎 優斗 様
		市民課	主事 酒井 大佑 様
		保険年金課	係長 吉田 祐 様
		水道課	課長 鈴木 史匡 様
		都市建設部道路建設課	主任 佐藤 元貴 様
		教育委員会文化振興課	主任 渡辺 幸恵 様
		産業戦略部 産業プロモーション課	主幹 小松崎 明子 様
		福祉部 介護保険課地域包括支援センター	主幹 鶴田 貴子 様
		報道関係	(株)茨城新聞社
県南支部会員参加者(順不同)全29社	(株)あおぞら、(株)伊東商事、(株)梅木商会、SEA.(有)、大豊工業(株)、環境通信輸送(株)、(株)クリーン・エステート、(株)ケイ・エム環境、三和油化工業(株)、(株)サンアップ、(株)サンセイ、高野工業(株)、(株)つくば環境ソリューションズ、(株)筑波学園環境整備、(株)東栄商事、日興運送(株)、(株)日昇つくば、日東エンジニアリング(株)、(株)日高建材、日立セメント(株)、八紘運輸(株)、(株)福井商店、(株)フロムダブリュー、丸太建設(株)、丸吉産業(株)、(株)美浦クリーン、(株)ヤマゲン、(株)やまたけ、(株)良興 < 総参加者数 95名 >		

処理量	不法投棄物は可燃系・不燃系（ビン・缶・ガラス）合わせて210kgを一般ごみとして霞台厚生施設組合クリーンセンターみらいへ、タイヤ等40kgを産業廃棄物として（株）つくばエンバイロメントソリューションズへ搬入しました。
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------



古矢会長



岡野支部長



石岡市議会議員
菱沼 和幸 様



石岡市生活環境課長
原田 和宣 様



県南県民センター 環境・
保女課長 仲田 弘美 様



【作業活動風景】

第102回 霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦



令和7年3月2日（日）午前8：00より、「霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦」に参加してきました。今回は稲敷市・土浦市の協力依頼のもと、天候にも恵まれ多数の協力会のご参加がありまして二カ所に分かれて各団体が集まり、本年度は県央支部・鹿行支部・県西支部からの応援を頂き清掃大作戦がスタートしました。参加人数が多かったのでゴミもすぐに無くなり怪我・事故もなく無事に終わることが出来ました。



《霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦（土浦市大岩田地区）



（稲敷市佐原組新田地区） 霞ヶ浦沿いその周辺》



新春親睦ボウリング大会



令和7年1月18日(土)午後6:00より、土浦市のパニックボウルつくばにて「県南支部新春親睦ボウリング大会」が開催されました。本年も22社71名多数の協会関係者のご参加を頂き、岡野支部長の始球式の後、2ゲームトータルスコアでの勝負にて、今回もストライク/スペアーを連発する方、レーンごとに白熱したプレーが繰り広げられました。そのような中、今大会は男性部門では(株)サンアップの清水さん、女性部門では(株)伊東商事の中村さんが高得点で優勝されました。おめでとうございます。

次回も豪華な賞品を皆さんで獲得しましょう。県南支部会員の皆様の親睦を目的として、多数の会員の皆様の参加を期待しております。今後ともご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

県南支部新春親睦ボウリング大会結果

		会社名	氏名	スコア(2G)
男性部門	優勝	(株)サンアップ	清水 倫太郎さん	354
	準優勝	(株)東栄商事	今泉 雅哉さん	325
女性部門	優勝	(株)伊東商事	中村 侑子さん	214
	準優勝	(株)伊東商事	斉藤 貴美子さん	207



《 男子優勝の清水さん 》



《 男子準優勝の今泉さん 》



《 女子優勝の中村さん 》



《 女子準優勝の斉藤さん 》

一般社団法人 茨城県産業資源循環協会 県南支部事務局
 〒300-2645 つくば市上郷 4257-1
 株式会社 つくばエンバィロンメントソリューションズ 内
 TEL:029 (847) 5502 FAX:029 (847) 5564
 web: <http://www.ibasanpai-kennan.com/main.html>
 mail: info@t-es.co.jp

茨城県産業資源循環協会女性部会活動報告書 《女性部会》

全国産業資源循環連合会女性部協議会主催 第3回実践研修会 鹿児島

期 日：2025年4月16～17日

参加者：全国から27名。茨城県から稲澤部会長と小嶋幹事が参加。

視察先：【第1日】鹿児島県曾於郡大崎町（廃棄物処理関連施設）

【第2日】小浜ビレッジ（鹿児島県霧島市）

【第1日】

①鹿児島県曾於郡大崎町の最終処分場視察

同町は、リサイクル率83%と日本一を誇る。

焼却施設の建て替えと最終処分場の新設を検討した際に、焼却炉は費用の問題から整備を取りやめ、また、最終処分場は既存施設の延命化を選択した。

2017年に終了予定だった処分場は、減量化による延命によって、埋立て完了までの利用期間を推計で40年間まで延ばすことができた（家庭ごみ総量18%・630t/年）。



②堆肥工場視察

生ごみ（家庭ごみの25%）をバケツ回収→破碎→草木・割箸破碎物（36%）と混合し、堆肥化している。8割を菜種油用菜の花畑で利用し、2割を市民向けに販売している。



③リサイクル施設視察

3品目（缶、瓶、PET）の選別からスタートし、現在28品目の紙おむつ（再生パルプ化し、紙おむつの原料として利用）まで拡大した。プラスチックは一括収集し、工場で選別する。また、資源ごみ売却による収入で奨学金を創設した。



④大崎町役場環境政策係寺原主事による講演

(1)サーキュラービレッジ構想

生活（燃料からごみ処分まで）をできるだけリユース・リサイクルする実験都市とし、企業と地域が一体となって社会問題の解決に向けて挑戦する。その予算として、企業版ふるさと納税を活用。

行政の役割は法整備と環境教育等であり、150の地域リーダーに担当者が付き、毎年研修を行っている。

(2) OSAKINI プロジェクト

官民連携の空き家活用や使用済み家具のアップサイクルなどに取り組む。

(3) 人材育成と国際展開

地域内外から多様な人材を呼び込み、リサイクルの価値を経済や教育に還元する仕組みを構築しており、ごみの堆肥化の国際支援などを行っている。企業・研究・教育機関との連携や視察等を通じて、実情を踏まえ、設計の段階で廃棄されずリサイクルできる製品開発への問題提議を呼び掛けている。

【第2日】

小浜ビレッジ視察

地域循環共生圏として、地域資源（木材、人的資源、遊休地）を活用して商業施設（店舗・オフィス）住宅を備える計画を持つ。徒歩圏内で生活が成り立つ新しい価値観のコミュニティとして、質の高い生活を目指す。

また、廃棄物削減と地域活性を両立させ、資源循環×地域再生のモデルケースとする。

エコミット事例の紹介があり、捨てられるものに価値をつけ、古着ボックス設置、回収、選別、国内・海外販売及び燃料として販売している。あわせて、ディスカッションを行った。



【所感】

研修期間中、共通の課題や取組みの事例などの情報交換を行いました。

村社会から大きな社会への変革を受けて、QOLや資源循環型社会を目指しながら、管理可能な規模のコミュニティで、住民—行政—企業がパートナーとなって支え合う姿を見ることができました。

また、都市圏においてもカーボンニュートラルの実現と安全な社会を目指すためにはこのような取組みが必要なこと、また、私たちの業界の重要性や可能性を再発見するきっかけになった、との声が多く聞かれました。



第1回懇親交流会

日時：2025年5月23日（金）18時から

場所：もり蔵（水戸市泉町3-3-40）

参加者：古矢会長、9社12名

【所感】

今回の懇親交流会は、初参加の方もいましたが、参加者同士で、活発に意見交換や情報交換をすることができ、今後の活動に生かせる場となりました。

また、この会を通じて参加者の方々との距離が縮まったと感じています。今後もこのような機会を増やし、活発な交流を深めてまいります。



協会からのお知らせ

1) 会員事業所の入・退会について

令和7年4月から令和7年7月1日までに、次の会員が入・退会の手続きをしておりますので宜しくお願い致します。

《 入 会 》	【正 会 員】	・(株)ウスイ産業・丸善エコアース(有)
	【賛助会員】	・日本キャタピラー合同会社・ベイニング(株)
《 退 会 》	【正 会 員】	・(株)常磐・(株)ムラタ・(株)東部・森田商店・蓮沼商運(株)
	【賛助会員】	・高橋行政書士事務所・鹿島都市開発(株)・(株)センチュリーホーム ・(有)ミワ総合設計

なお、協会ホームページでは、掲載を希望した会員のみ、検索システムに掲載しておりますので、是非ご利用ください。

2) 協会の動き

協会で開催・参加した事業を掲載しております。

4月	11日	再生砕石専門部会研修会	7月	3日	更新収運許可講習会（対面）
	15日	関東地域協議会		4日	関東地協建設廃棄物対策委員会
	17日	鹿行支部総会		8日	特管責任者講習会試験
	18日	県西支部総会		9日	茨城新聞政経懇話会
	22日	第1回理事会・正副会長会議		10日	熱中症対策セミナー
	24日	県南支部総会		11日	第1回総務企画委員会
	25日	県北支部総会		16日	第1回適正処理委員会
	26日	県央支部総会		18日	先進事例視察研修会
5月	27日	第13回定時総会		23日	先進事例視察研修会
		第2回理事会			建設フェスタ 2025 実行委員会
	28~30日	2025NEW環境展/地球温暖化防止展		24日	エコカレッジ
6月	5日	第1回安全衛生委員会		31日	第4回理事会・正副会長会議
	12日	第3回理事会・正副会長会議			行政との意見交換会
	16日	第1回研修厚生委員会			
		第1回中間処理専門部会運営委員会			
	20日	全産連第15回定時総会及び 法人化40周年記念式典			
	25日	建設副産物リサイクル推進幹事会			
	27日	第1回広報調査研究委員会			

協会ホームページお知らせ掲載内容(3月～7月)*詳しくは、協会ホームページをご覧ください。

- ・過去に製造販売されていた製品の一部に石綿の含有が確認された事案について(注意喚起)
- ・「産業廃棄物処理 現場業務 e ラーニング講座(令和7年度)」のご案内について
- ・【厚労省より入札公告のご案内】令和7年度個人防護具等の再生処理等の廃棄物処理業務について
- ・(低炭素関係)再エネ関連製品及びベース素材の全体最適化実証事業の公募について
- ・令和7年度エイジフレンドリー補助金について
- ・茨城県省エネ診断事業のご案内
- ・令和6年職場における熱中症の発生状況(確定値)等について
- ・「第98回全国安全週間を迎えるにあたって 会長メッセージ」について
- ・災害対応車両登録制度の運用開始について
- ・労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行等について
- ・公正取引委員会による「出張！トリテキ会議」のお知らせ

- ・「令和7年度産業廃棄物処理検定(廃棄物処理法基礎)第9回」開催のご案内について
- ・令和7年度全国安全週間の実施に伴う協力依頼について・価格転嫁・取引適正化に関する今後の取組について
- ・地産地消型資源循環加速化事業について
- ・入会のご案内について
- ・廃棄物の排出場所以外の施設での機械分別等の規定の明確化について
- ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)の価格改定について(2025年4月1日~)
- ・廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアルの改定について
- ・PFOS等を含む水の処理に用いた使用済活性炭の適切な保管等について
- ・2025年度許可講習会受付開始について
- ・令和7年度産業廃棄物処理実務者研修会開講(第1期~第4期)のご案内
- ・2025年度許可講習会の開催日程が公表されました
- ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)の価格改定について(2025年4月1日~)
- ・「経営者の皆様へ」経営者トップによる所信表明について

理事会の開催結果について

令和6年度第6回理事会(令和7年3月13日) 茨城県開発公社ビル

- (1) 協議事項
 - ①令和6年度補正予算について
 - ②令和7年度事業計画及び令和7年度収支予算について
 - ③事務局職員の定年後再雇用制度について
- (2) 審議事項
 - ①入会の承認について
 - ②令和7年度協会表彰及び令和7年度全産連表彰の推薦について
 - ③役員候補者の推挙の変更について
 - ④第13回定時総会の開催及び令和7年度理事会等の日程について
 - ⑤その他
- (3) 報告事項
 - ①令和6年度事業報告及び収支状況報告(2月末)について
 - ②令和7年新春賀詞交歓会の結果について
 - ③業務委員会・支部・部会の報告について
 - ④その他
- (4) その他
協議事項、審議事項とも原案どおり承認されました

令和7年度第1回理事会(令和7年4月22日) 茨城県開発公社ビル

- (1) 協議事項
 - ①業務委員会委員の改選について
 - ②事務局職員の採用について
- (2) 審議事項
 - ①入会の承認について
 - ②令和6年度滋養報告及び令和6年度収支決算報告について
 - ③第13回定時総会の議案書について
 - ④第13回定時総会の開催通知について
 - ⑤「建設フェスタ2025」の協賛について
- (3) 報告事項
 - ①県政要望事項に対する対応状況の報告と団体からの評価について
 - ②環境省との意見交換について(関東地域協議会)

- ③業務委員会・支部・部会の報告について
 - ④その他
 - (4) その他
- 協議事項、審議事項とも原案どおり承認されました

第2回理事会(令和7年5月27日) ホテルレイクビュー水戸

- (1) 審議事項
 - ①会長、副会長及び常務理事の選定について
- 審議の結果、原案どおり承認されました

第3回理事会(令和7年6月12日) 茨城県開発公社ビル

- (1) 協議事項
 - ①令和7年度行政との意見交換会について
 - ②令和7年度いばらき自民党県政要望について
 - (2) 審議事項
 - ①入会の承認について
 - ②令和7年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰者の推薦について
 - (3) 報告事項
 - ①第13回定時総会の結果について
 - ②業務委員会・支部・部会の報告について
 - ③その他
 - (4) その他
- 協議事項、審議事項とも原案どおり承認されました



理事会の席において賛否挙手の様子

業務委員会について

茨城県開発公社ビル 協会事務局内において、令和7年度第1回各業務委員会を開催しました。昨年度の実績報告の後、新年度の事業計画について協議いたしました。



協会事務局内での委員会の様子

- ・第1回安全衛生委員会
(令和7年6月5日開催)
- ・第1回研修厚生委員会
(令和7年6月16日開催)
- ・第1回中間処理専門部会運営委員会
(令和7年6月16日開催)
- ・第1回広報調査研究委員会
(令和7年6月27日開催)
- ・第1回総務企画委員会
(令和7年7月10日開催)
- ・第1回適正処理委員会
(令和7年7月11日開催)

賛助会員（55社）

賛助会員一覧

令和7年7月1日現在

旭化成建材(株)境工場	☎0280-87-5232	ジェーワン(株)	☎0296-73-6076
(株)ADEKA 鹿島食品工場/鹿島化学品工場	☎0299-97-3363	(株)JEMS	☎029-863-7215
イーテラス(株)	☎03-5530-8167	住友建機販売(株)関東甲信越統括部茨城支店	☎050-9001-8607
(株)伊藤製鐵所 筑波工場	☎029-837-2111	損害保険ジャパン(株)茨城支店日立支社	☎0294-23-3381
茨城県アスファルト合材協会	☎029-225-6244	(株)第一安全	☎029-302-3200
(一社)茨城県環境管理協会	☎029-248-7431	(株)大紀アルミニウム工業所 結城工場	☎0296-32-3311
(一社)茨城県経営者協会	☎029-221-5301	ダイキン工業(株)鹿島製作所	☎0479-46-2441
(一社)茨城県建設業協会	☎029-221-5126	(株)タウ 水戸支店	☎029-300-2007
茨城県再生資源事業協同組合	☎0296-77-5764	高砂製紙(株)	☎0297-24-0611
茨城セキスイハイム(株)	☎029-303-8103	高須行政書士事務所	☎029-862-2730
(株)エス・ディー・エス・バイオテックつくば研究所	☎029-847-0300	(株)武井工業所	☎0299-24-5200
(株)ENEOS マテリアル鹿島工場	☎0299-96-2510	(株)中央環境行政事務所	☎029-305-5322
(株)MCエパテック つくば分析センター	☎029-886-3951	中天通商(株)	☎0280-33-3390
遅塚行政書士事務所	☎029-225-6685	(株)つくば保険事務所	☎029-855-2252
花王(株)鹿島工場	☎0299-93-8311	トーソー(株)つくば事業場	☎0297-52-2111
鹿島石油(株)鹿島製油所	☎0299-97-3104	日本キャタピラー合同会社	☎029-850-0011
鹿島ポリマー(株)	☎0299-96-7261	日本製鉄(株)東日本製鉄所鹿島地区	☎0299-84-2912
(株)環境研究センター	☎029-839-5501	日本テクノ(株)水戸営業所	☎029-302-5395
(株)環境総合研究所 北関東支社	☎029-303-7581	(株)日本トリム	☎03-3537-1611
(株)関電工 茨城支店	☎050-3133-2075	日立建機日本(株)茨城支店	☎029-847-5432
行政書士法人水戸総合事務所	☎029-251-3101	(株)日立産業制御ソリューションズ	☎0294-53-6115
キューピー(株)五霞工場	☎0280-84-2596	(株)日立製作所 日立事業所	☎0294-21-1111
(株)クレハ 生産・技術本部樹脂加工事業所	☎0299-26-1181	ファンファーレ(株)	☎050-1748-2697
KTS(株)	☎048-483-4883	ベイニング(株)	☎03-6899-1153
コベルコ建機日本(株)茨城営業所	☎029-304-5501	水戸赤塚行政書士事務所	☎029-297-3066
コマツ茨城(株)	☎029-304-3810	ユニマテック(株)	☎0293-42-2161
(株)サンアップ	☎029-852-4490	(有)ライフサービス	☎029-304-4774
(株)サンライフコーポレーション	☎0296-73-6691		

*会報の発送とともに、事業所等の製品やサービス等を掲載したチラシ等の同封発送サービス、また、メール一斉送信サービスを行っております。情報発信のツールとして、是非ご活用ください。

ご希望の方やご不明な点等がございましたら、協会事務局までお問い合わせください。

一般社団法人 茨城県産業資源循環協会事務局



今川参与、山崎次長、小澤係長、市川係長、河原井の体制で、会員の皆様のお役に立てるよう、事務局運営を心掛けてまいります。

常務理事兼事務局長 河原井 淳

←前列左から今川参与・河原井事務局長
後列左から山崎次長・小澤係長・市川係長



顧客情報を基点に、様々な業務を一元管理。



業務間のスムーズな連携で、
事業成長が加速する！

※出典：富士キメラ総研
「2023 SX/GXによって実現するサステナビリティ/ESG支援関連市場の現状と将来展望」
金額ベースベンダーシェア 2022年度実績

環境将軍[®]R

廃棄物処理・資源リサイクル業向け
基幹システム

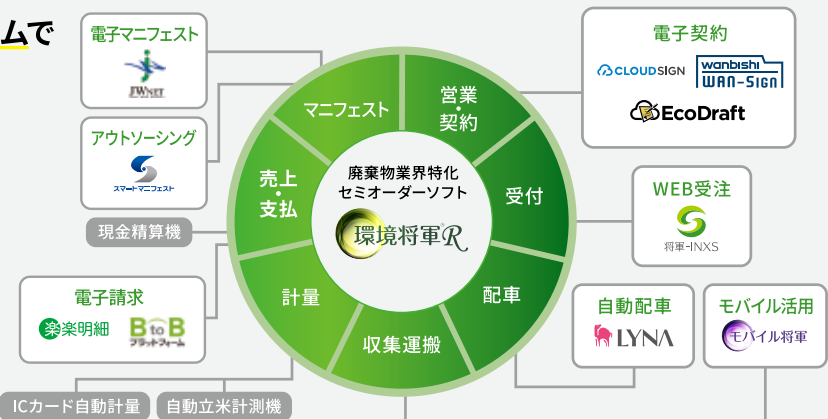
顧客管理を効率化し営業活動にリソースを割きたい

業界で差別化を図るため社内のDXを推進したい

迅速な意思決定のため社内の情報を一元化したい

業務効率アップで、経費を削減したい

業務全体を最適化するシステムで
部署間連携と生産性が向上！



どんなことでも、お気軽にお問合せください



フリーダイヤル

エコなしくみ



0120-857-493



本社:〒305-0033 茨城県つくば市東新井31-13
京都事業所/名古屋営業所/福岡営業所

Mail: h-eigyou@j-ems.jp

https://www.j-ems.jp/shogun/solution

環境将軍R

検索